

## Small type elevator machinery

**Publication number:** JP63119579U

**Publication date:** 1988-08-02

**Inventor:** HIROSHI YOSHIKAWA (JP)

**Applicant:** MITSUBISHI ELECTRIC CORP (JP)

**Classification:**

- international: **B66B7/00; B66B7/02; B66B11/04; B66B11/08;  
B66B7/00; B66B7/02; B66B11/04;** (IPC1-7): B66B7/00;  
B66B7/02; B66B11/08

- European:

**Application number:** JP19870011068U 19870128

**Priority number(s):** JP19870011068U 19870128

**Report a data error here**

Abstract not available for JP63119579U

---

Data supplied from the **esp@cenet** database - Worldwide

⑫ Int. Cl.<sup>5</sup>

B 66 B 11/04  
7/02

識別記号

A  
Z

庁内整理番号

6573-3F  
6573-3F

⑬ 公告 平成4年(1992)11月26日

(全5頁)

⑭ 考案の名称 小形エレベータ装置

⑮ 実 願 昭62-11068

⑯ 公 開 昭63-119579

⑰ 出 願 昭62(1987)1月28日

⑱ 昭63(1988)8月2日

⑲ 考 案 者 吉 川 博 愛知県稲沢市菱町1番地 三菱電機株式会社稲沢製作所内  
⑳ 出 願 人 三菱電機株式会社 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号  
㉑ 代 理 人 弁理士 高 田 守 外1名  
㉒ 審 査 官 清 水 英 雄

1

2

⑳ 実用新案登録請求の範囲

昇降路を上下方向に移動する昇降体の外側方に頂部が最上階の昇降体の天井高さより低く配設されたガイドレールを設けると共に、このガイドレールの頂部に取付台を固定し、この取付台上に上

㉑ 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この考案は小形エレベータ装置の改良に関するものである。

〔従来の技術〕

近來、高齢化社会の到来や妊産婦の保護など福祉の必要性が高まるに伴い、2～3階建の個人住宅においても、エレベータの設置が強く望まれるようになってきている。しかし、従来のエレベータは事務所や大形の共同住宅での需要に応じて発展して来たので、これらに適するエレベータを単に小形化しても、個人住宅用としては設置スペースの効率、経済性等の点から種々の不適当な点が生じる。すなわち、従来一般のエレベータ装置は例えば第5図に示すようになっていて、第5図は従来のエレベータ装置の側断面図を示し、1は昇降路、2は昇降路1の上方に設けられた巻上機等の駆動装置3を設ける機械室、4は昇降路1の左右壁面に固定されたかご5案内用のガイドレール、6は主索で、一端がかご5の主枠の上梁5aに固定され、かつ他端が駆動装置3によつて駆動

される綱車7、そらせ車8を介してつり合いおもり9に連結され巻上機の駆動力によりかご5の昇降を行うようになっている。10はかご5の背面側に位置して立設されたつり合いおもり案内レール、11は調速機で、この調速機11にはかご5に近接して調速機ロープ13がエンドレスにして設けられている。上記のように構成された従来のエレベータ装置によれば、巻上機等の駆動装置3を配設する機械室2が昇降路1の上方部に設けられエレベータ装置の全体の据付け高さが高くなり小規模の建築物等では法令による日照権等の制限等の問題があり、住宅用の小形エレベータ装置としては不適当なものとなっている。

そこで、昇降路の上方に設けられる機械室をなくし、エレベータ装置の据付けの全体高さを低く抑え、個人住宅用の小形エレベータ装置のニーズに適合するようにしたものとして、例えば実開昭58-34862号に示すように、昇降路の下部に隣接して機械室を設けた構成のベースメント式エレベータ装置が開発されている。

〔考案が解決しようとする問題点〕

しかし、上記のような従来のエレベータ装置では、昇降路の側面に隣接して昇降路より外方に突設したドラム式巻上機等を配設する機械室を別個に設ける必要があり、このため特に省スペースの要求の強い個人住宅用のエレベータ装置においては機械室スペースのレイアウトが面倒になるという問題がある。また、機械室を昇降路の上方に備

える従来の方式のエレベータ装置ではエレベータ専用の機械室を建物上部に建築せねばならず、日照制限を受け易い市街地の住宅用建築物には不向きであると共に、機械室の機器の点検用として、保守作業員が機械室に行くための階段、又は通路を特別に付設しなければならず省スペースの要求される小規模住宅では設置スペースの効率が悪いという問題点があつた。

この考案は上記のような問題点を解消するためになされたもので、エレベータの機械室を建物の上部或いは昇降路の隣接部に昇降路より外方に突設して設けることなく省スペースで据付け可能な小形エレベータ装置を提供することを目的とする。

#### 〔問題点を解決するための手段〕

この考案に係わる小形エレベータ装置は、昇降路内に配設されるガイドレールを昇降体の外側方にかつ頂部が最上階の昇降体の天井高さよりも低く配設して設けると共に、このガイドレールの頂部に固定した取付台に上記昇降体の駆動装置を設置したものである。

#### 〔作用〕

この考案による小形エレベータ装置は、昇降体の駆動装置をガイドレールの頂部に固定した取付台に設置するようにしたので、駆動装置がほぼ昇降体の天井高さと同じ高さに位置して昇降路内に収納されており、従来のように昇降路の上方に或いは昇降路より外方に突設して駆動装置を設置する機械室を別個に付設する必要がなくエレベータ装置を小規模住宅に適合したコンパクトなものとすることができる。

#### 〔実施例〕

以下、この考案の一実施例を第1図乃至第4図について説明する。

第1図において第5図の従来のエレベータ装置と同一又は相当部分には同一符号を付してその説明を省略し、異なる点について重点的に説明する。

図中14はかご5を支持する片持式のかごの主枠であり、このかごの主枠14の上梁14aには主索12の一端が結合されていると共に、前、後枠材14b、14cには凹部14dが形成され、この凹部14dには後述のガイドレール15のフランジ部15cが位置し、上記枠材14b、14

cの上下端に設けたガイドシュ16および17が上記フランジ部15cに接触滑動し、かご5をガイドレール15に沿って上下方向に昇降案内する。18はつり合いおもり9を支持する支持枠であり、この支持枠18の上梁18aは主索12の他端が結合されかつ前、後枠材18b、18cには上記かご主枠14の前、後枠材14b、14cに設けたと同様の凹部18dが形成されこの凹部18d内に後述のガイドレール15のフランジ部15dが位置するようになってい

る。19、20は前、後枠材18b、18cの上下端部に取り付けられ、上記フランジ部15dに接触するガイドシュであり、このガイドシュ19、20によりつり合いおもり9をガイドレール15に沿って昇降可能に案内できるようになっている。

上記ガイドレール15は一對のレール部材15a、15bからなり、この一對のレール部材15a、15bはそれぞれ横断面コ字状に形成されたフランジ部15c、15dを有すると共に、これらのフランジ部15c、15d側をそれぞれ上記かご主枠14の前、後枠材14b、14cおよびつり合いおもり9の支持枠18の前後枠18a、18bの幅と対応する幅間隔を設けて上記かご5の側面側に立設配置したものであり、図示しないブラケットにより昇降路1に固定されている。また上記ガイドレール15の頂部15eは昇降体であるかご5が昇降路1の最上階に停止した状態のかご5の天井高さより低い位置で終端している。21は上記ガイドレール15の頂部15eに固定した取付台であり、この取付台21にはかご5を主索12によつて昇降させるための駆動装置3が設置されている。そして駆動装置3およびこの駆動装置3に加わる垂直荷重等をガイドレール15で支持し、建築物にかける荷重負担を軽減するようにしている。22はエレベータ乗場の出入口を開閉するように設けた2枚折れ戸、23はかご5の出入口を開閉するための手動2枚引き戸を示している。また24は駆動装置3の点検口であり、最上階の乗場のフロントパネルに設けられ保守点検に利用されるものである。25はガイドレール15の下方に設置された緩衝器である。

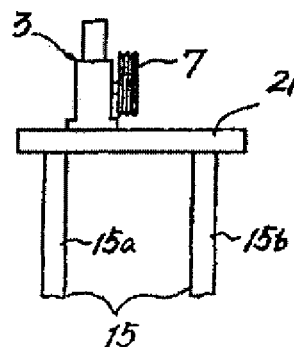
以上のように構成されたこの考案の実施例によれば、かご5の側面側に配設したガイドレール15の頂部15eに取付台21を固定し、この取

6

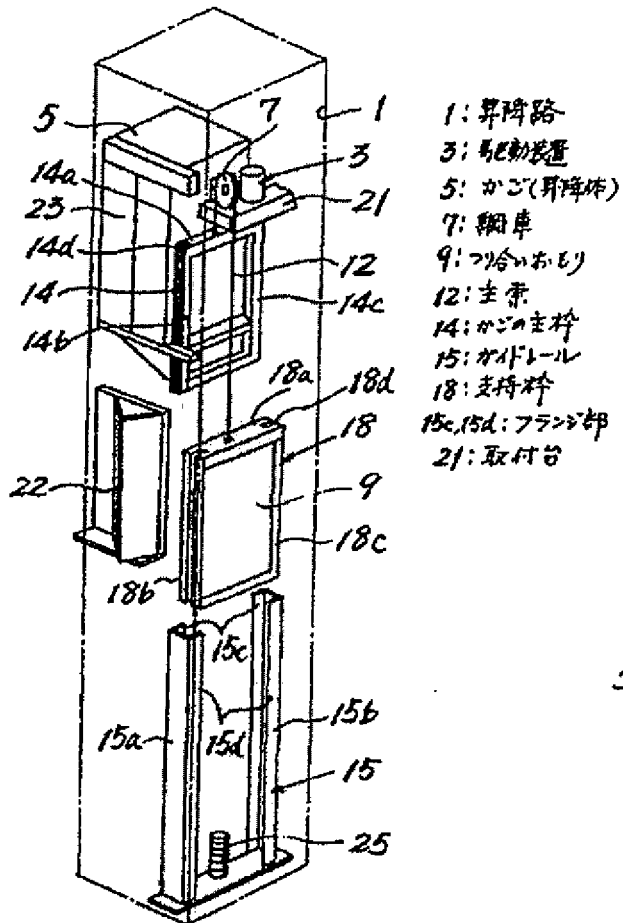
以上説明したように、この考案の小形エレベータ装置によれば、昇降路を上下方向に移動する昇降体の外側方に、頂部が最上階移動時の昇降体の天井高さより低く配設されたガイドレールを設け、このガイドレールの頂部に取付台を固定して

20 1……昇降路、3……駆動装置、5……かご、  
6……主索、7……巻上機、8……そらせ車、9  
……つり合いおもり、14……かごの主棒、15  
……ガイドレール、18……つり合いおもりの支  
持棒、21……取付台。なお、図中同一符号は同  
25 一又は相当部分を示す。

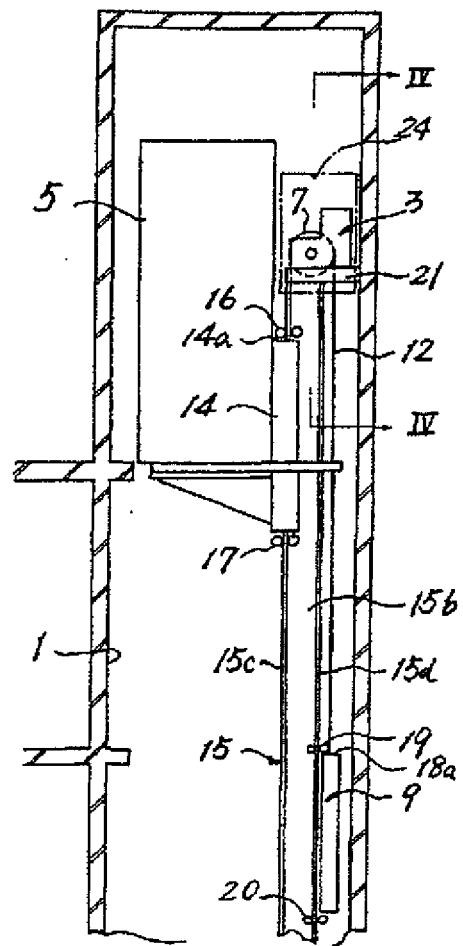
第4图



第1図



第3図



第5図

